

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	北区市民部地域振興課(757-2407)
-----	-----------------	-----------	----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市新琴似・新川地区センター	所在地	札幌市北区新琴似2条8丁目1-20
開設時期	1995年2月27日	延床面積	1281.51㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	1階-体育室・会議室・和室・図書室 2階-洋室・実習室		
2 指定管理者			
名称	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団		
指定期間	令和5年(2023年)4月1日～令和10年(2028年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 令和7年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1) 統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定	◎担当業種を問わずすべての職員が基本方針を理解し運営に携わることができた。また利用者や地域住民とのコミュニケーションを積極的に意識したことにより、その声を反映しやすい運営ができた。	A B C D ■基本方針を適切に策定し、公正・公平な施設運営に取り組んでいる等、要求水準を達成していると認められる。
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績	◎情報を広く知らせる手段として「新・新だより」を月1回のペースで定期発行し、町内会の協力のもと各町内へ回覧した。講座や各種事業のチラシを館内のみならず近隣施設へも掲示・配布の依頼をし、積極的に周知行動したことで情報が確実に広く浸透するようになった。	■平等利用を確保する上での基本的な方針を定め、関係規程等に基づき適正に取り組んでいる等、要求水準を達成していると認められる。
	▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進	◎全職員が節電をはじめ環境に配慮した運営に取り組むことができた。また、EMS研修を行った。緑のカーテンによる効果は環境への配慮と共に利用者との会話のコミュニケーションツールにもなった。◎節電については館内にポスター掲示をし、利用者にも意識を向けてもらうことができた。	■関係規程を遵守し、資源リサイクルやエネルギー使用量の削減、グリーン購入指定品の使用に積極的に取り組んでいる等、要求水準を達成していると認められる。
	①公の施設であることを常に念頭におき、市民の福祉や健康の増進に努め、公平な利用を供する管理運営を行う。 ②施設の効用を最大限発揮し、設置目的等に資する適切な管理運営を行う。 ③住民のコミュニティ施設運営への参画、まちづくり人材の育成、まちづくり活動の助長を促進する管理運営を行う。 ④サービスの維持向上に努め、安定的かつ継続的なサービスの提供がなされるような管理運営を行う。 ⑤利用者や地域住民の声を常に把握し、細やかに地域の課題やニーズをとらえ施設の管理運営に反映させる。 ⑥少ない経費で大きな効果を上げるよう効率的な管理運営に努める。		

▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成）

▼職員構成及び配置

職種	配置部署	職務	雇用形態	人数
館長	事務室	統括	常勤	1
副館長	事務室	事務・経理	常勤	1
事業運営	事務室	事務・講座	非常勤	7
司書	図書室	図書・講座	常勤	1
司書	図書室	図書・講座	非常勤	1
図書	図書室	図書・講座	非常勤	3
清掃	全館	清掃・事業補助	非常勤	3

・管理運営を適切に行うため、館長、副館長を配置し、日曜・祝日及び夜間についても職員の配置基準を厳守した。

▼人材の育成

・職種にかかわらず指定管理者制度の知識や運営に対する理解、接遇と苦情対応、救命救急講習、安全管理・危機管理・事故予防についての勉強会を実施した。

・施設運営に役立つ各種講習研修へすべての職員が可能な限り積極的に参加した。

《参加例》

・職員スキルアップ研修・中央図書館研修（業務・接遇等）・普通救命救急講習・防火防災研修・札幌市ホームページ研修・清掃研修・危機管理研修・アンガーマネジメント研修・個人情報保護研修・コンプライアンス研修・リスクマネジメント研修・カスタマーハラスメント研修・社会教育研究全国集会・生涯学習関連施設職員研修

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼清掃・事務・図書職員による日報の記入とそれをもとにした情報共有のための夕礼を夜間職員と毎日実施した。

▼業務水準及び職務意識の向上のため、全職員会議を定例で実施した。また日勤事務・夜間事務・図書・清掃の各セクション毎の会議も毎月実施し、問題点・改善点を話し合った。

▼運営協議会委員に助言を求めた。

▼利用者アンケートを実施した。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認）

▼以下の業務を第三者委託した。これらの委託業者により業務は適正に遂行された。

- ①予約システム運営業務 ②機械警備業務
③自動ドア保全業務 ④消防設備保全業務
⑤自家用電気工作物保安管理業務
⑥エレベータ点検業務 ⑦舞台装置保全業務
⑧建築基準法定期点検業務 ⑨除排雪業務
⑩ボイラ保全業務 ⑪定期清掃業務（一部）

◎適切な管理運営を行うために必要な組織整備や協定書に添った従事者の確保・配置をしたことで円滑な運営ができた。事務（日勤・夜勤）、図書、清掃のすべての職種で情報を共有して業務に取り組んだ。

◎外部研修や当法人の内部研修に多くの職員が参加し、運営業務に活かすことができた。各人の業務に対するスキルおよび意識の向上にも役立てることができた。

◎各種会議、日報の記入を実施することにより情報共有ができ、月1回行う定例会議で運営について話し合う場を持った。その結果、全員が主体的に運営に参加できた。

◎再委託業者選定の際は可能な限り複数の団体から見積を取り決定した。令和7年度も支障なく業務を遂行できた。定期点検書類はファイリングし情報共有している。

■管理運営業務を適切に行い得る組織が整備され、従事者が適切に確保・設置されている。また、計画に基づいた研修・勉強会を実施するとともに、外部の講習・研修等への参加など、人材育成の取り組みが十分になされていることから、要求水準を達成していると認められる。

■定例会議の実施等、職員間の情報共有方法を明確にしていると、業務の見直しに関しても定期的に行っている等、要求水準を達成していると認められる。

■可能な限り複数から見積を徴する等、適切に対応していることから、要求水準を満たしていると認められる。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

開催回	協議・報告内容
第1回	・令和6年度 事業報告 ・令和7年度 活動予定 ・最近の動向 ・意見交換
第2回	・利用料金・利用率報告 ・令和7年度 講座等事業報告 ・最近の動向 ・意見交換
第3回	・令和7年度 事業報告・活動予定 ・令和7年度 利用者アンケート報告 ・最近の動向 ・意見交換
第4回	・利用料金・利用率報告 ・最近の動向 ・意見交換
<協議会メンバー> ・各連合町内会会長（新琴似・新琴似西・新川） ・各まちづくりセンター所長（新琴似・新琴似西・新川） ・地域サロン元会長 ・利用者代表（男性1名・女性2名） ・札幌市北区市民部地域振興課長 ・新琴似・新川地区センター館長及び副館長 以上13名	

▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）

▼資金管理、現金等の適正管理

・指定管理業務に係る収支については独立した帳簿及び預金口座で管理している。

・毎月、経理担当者による相互監査と本部経理部員による内部監査及び公認会計士による外部監査を実施している。

・現金等の管理については定められた現金取扱規定により適正に管理している。現金引き継ぎのため1日3回金種の確認を実施した。

▽ 要望・苦情対応

▼利用者からの要望・苦情受付体制として館内に「利用者の声」と称した投書箱及び投書用紙を設置。また、メールや電話など様々な手段で受付をしている。

▼職員全員が常時利用者から苦情等の申し出受付可能な体制を取り、必要に応じて担当への引き継ぎを徹底している。

◎施設に対するニーズや意見を求め、運営に活かすことができた。

◎施設(事業)のPRや相談・情報共有の場にもなっており、お互いに協力しあえる関係が出来てきた。

◎議事録は札幌市へ報告するとともに一定期間館内に掲示をすることにより利用者へ周知することができた。

■運営協議会が所定の回数開催され、必要な事項について協議されている等、要求水準を達成していると認められる。

◎資金及び現金の管理については取り扱い規定をもとに適切に運用した結果、特に問題は起きていない。

■実地による財務関係書類等の検査により、帳簿・現金等が適切に管理されていることを確認している。また、内部監査及び外部監査を実施しており、現金取扱規程を定め、適切に運用する等、要求水準を達成していると認められる。

◎利用者からの要望・苦情があった場合には担当者や館長が迅速な対応と適切な処理をしている。職員全員で問題を共有し札幌市へも随時報告している。

■要望・苦情等について適切に対応する体制を備えており、要求水準を達成していると認められる。

	▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) ▼日常的な日報記入をはじめ業務に関する記録を確実に取り、職員間で情報を共有をして運営を円滑に進めている。 ▼利用者アンケートの結果を館内に掲示した。内容について運営協議会委員と意見交換を行った。 ▼札幌市への提出書類や検査等への適切な対応と協力ができた。	◎講座や事業終了時には都度利用者アンケートを確実に実施し運営に活かした。 ◎札幌市による業務検査では指摘事項はなかった。	■各記録を適切に取扱うとともに、アンケート調査及び結果分析、セルフモニタリングが適切に行われている。また、協定書に基づく各報告書類が適切に提出されている等、要求水準を達成していると認められる。								
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ▼施設で働く職員に対し、最低賃金を遵守した時給1,075円(令和7年10月4日発効)を支給した。それに加え3年経過時から1時間当たり15円・図書司書資格者には専門資格手当を1時間当たり10円支給した。また労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ▼施設で働く職員に時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。 ▼65歳以上の職員は1年毎に労働条件を交わし雇用の継続をしている。 ▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。また必要に応じて適切に届出等を行った。 ▼1年に1回定期健康診断を実施し結果を把握した。再検査や生活習慣病などの診断があった場合には産業医から指示を受けている。また雇入れ時には健康診断を実施した。 ▼安全衛生推進委員を配置し日々の健康管理に努めた。 ▼法人内に雇用の管理に関する相談及び苦情窓口を設け公正な業務を行っている。 ▼指定管理者の申込時に提出したワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。有給休暇については確実に取得が進むように有給休暇管理簿で管理し、年10日以上付与されている職員は年5日以上の取得義務を遵守している。常勤者は年間で3日間のリフレッシュ休暇を取得できる。 ▼労働災害は1件発生した。 ▼労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。	◎就業規則・最低賃金の概要・安全衛生推進者の職務と氏名・36協定を常時閲覧できる環境を整えている。法令遵守はもちろん、職員間のコミュニケーションを密にし、風通しのよい働きやすい職場づくりをした結果、多様な働き方の選択を可能にすることができた。 70歳以上が1名、75歳以上が3名、80歳以上が1名就労している。 ◎発生した労働災害には適切に対応した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ■実地による関係書類の検査等により、労働関係法令が遵守され、関係規則等が整備されていることを確認した。また、労働災害が起こった際にも適正に対応している等、要求水準を達成していると認められる。	A	B	C	D				
A	B	C	D								
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ▼施設の案内、秩序維持、火災・盗難の事故予防など利用者の安全確保、サービス向上への配慮に努めた。定期的に職員が館内外を巡回し、事故防止の観点から不審物、不審者、危険物の有無を確認。貸室終了後の点検を確実にを行った。 ▼拾得物は利用者にわかりやすいよう事務室前に設置したガラスケース内(常時施錠)に保管し、速やかに持ち主に返却できるよう努めた。 ▼指定管理者として必要な損害賠償保険等に加するとともに講座・事業参加者の事故・怪我などに備えレクリエーション保険に加入し参加者の安全を担保した。	◎施設内、敷地内を定期的に点検し、連絡体制も整備し利用者の安全確認を励行した結果、無事故であった。施設の不備や区民講座・交流事業での事故は発生しなかった。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ■利用者等の安全確保が適切に行われており、事故等は発生していない。また、拾得物の取扱いも適切に行われている等、要求水準を達成していると認められる。	A	B	C	D				
A	B	C	D								

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

▼日常の館内清掃及び建物周囲の整備、備品管理、軽微な修繕は可能な限り職員が対応し仕様書の水準を満たした。
▼警備・保守点検等については前述のとおり第三者委託により実施した。

▽ 防災

▼防災計画を策定するとともに札幌市に報告し、7月・1月は全職員参加で自衛消防訓練を、3月は傷病者搬送訓練を実施。
▼札幌防火管理者協会による防火管理者教養セミナー、防火管理研修に参加した。
▼札幌防火管理者協会による救命講習会に参加した。
▼AEDの毎日の動作確認と付随品の期限確認を行った。

◎警備・保守点検は委託業者と連携し、清掃および駐車場管理は職員が適切に維持管理を行った。

■各維持管理が適切に行われており、要求水準を達成していると認められる。

◎消防や救命など防災を目的にした訓練を適切に行い、職員の意識向上を図ることができた。札幌市消防局北消防署新光出張所の視察があったが指摘事項はなかった。
◎札幌防火管理者協会から優良事業所として認定された。

■防災計画に基づき、各種訓練、研修への参加等適切に取組が行われており、また、AEDの動作確認を日々行い緊急時に備えるなど、要求水準を達成していると認められる。

(4) 事業の計画・実施業務

▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務

	計画	実績
講座数	14	15
回数	46	36
受講者数	213	246

講座名	回数	募集	受講者	参加数 目標値の 達成率 (%)	理解 度 (%)	満足 度 (%)
古布で布ぞうりづくり講座	1	6	6	120	100	100
はじめてのタイ語講座	8	6	6	120	100	100
しなやかにストレッチ講座	5	15	13	108	100	100
小学生ラジオ工作講座	1	10	9	113	100	100
夏休み工作モザイクタイル体験講座	1	20	33	206	100	100
身体リフレッシュ健康体操講座	4	15	12	100	100	100
ハーブ入門講座	1	10	14	175	100	100
七宝焼でつくるクリスマスオーナメント講座	1	10	16	200	100	100
ニシン漬け講座	1	15	16	133	100	100
キャッシュレス講座	1	12	12	120	100	100
輪針で編むネックウォーマー講座	2	6	5	100	100	100

◎定員以上の申込があった場合は、講師と相談の上、開講場所を広い部屋に移す、時間帯をずらし、もうひと枠増やすなどの調整を行い対応した。

◎様々な世代が楽しめる内容を企画した。

◎しなやかにストレッチ講座は講座終了後サークルとして活動したが、運営がうまくいかず2カ月で解散となったことは悔やまれる。運動を継続したいサークル員には他のサークルを紹介できたことは良かった。

◎輪針で編むネックウォーマー講座は職員が講師を務め好評を得た。

◎無料で参加できる講座も行った。

A B C D

■実施講座数、受講者数は昨年より少ない結果となったが、要求水準の10講座は上回っている。また、様々な世代が楽しめる内容の企画等、魅力ある講座の開拓に努めており、受講者の理解度・満足度も高く、サークル化に繋がりそうな講座があるなど、利用者増への寄与が期待できる。今後新たな講座を開拓し、受講者が増えるよう、引き続き積極的に取り組まれることを期待する。

スマホ講座	1	20	19	119	100	100
段ボールで作る 自家製堆肥講座	1	15	13	108	100	100
春期健康体操 教室	4	40	43	134	100	100
秋期健康体操 教室	4	40	29	91	100	100

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務

	計画	実績
事業数	11	18
回数	14	21
参加者数	820	4,525

事業名	回数	目標人数	参加者数
第12回 新・新ほんわかコンサート	1	300	450
第14回新・新まつり	1	1,000	1,750
しん・しん うたごえひろば	2	50	48
おもちゃクリニック	2	40	51
なつのおはなし会	1	10	26
ふゆのおはなし会	1	8	14
夏休み子ども司書体験	1	2	2
栄養士さんによる 栄養相談会	1	12	9
七夕飾り	1	200	433
文庫本の交換会	1	60	103
第26回 新・新ぶんかフェスタ	1	600	850
健康測定会	1	24	24
ハロウィンを楽しもう	1	200	466
新・新健康フェスタ	1	30	37
第27回卓球大会	1	36	36
しんことに雪あかり ～しんことにを灯そう～	1	10	15
第1回新・新和太鼓コンサート	1	150	140
ハッピーボウリング	1	50	71

◎参加者数が大幅に上回った原因は終日ロビーで気軽に参加できる七夕飾り、ハロウィンを実施したためと考えられる。小さな子どもからシニア世代まで参加できる行事として喜ばれた。

◎新琴似まちづくりセンター、新琴似地区福まち推進センター、新琴似地区老人連合協議会等の団体と協力して事業を行い、地域と連携することができた。

◎コンサート、ぶんかフェスタなどの大勢が参加する事業は入場方法等の課題も見受けられるがとても好評である。問題点は少しずつ改善していきたい。

◎利用者から強く要望があった札幌創成高等学校太鼓部による和太鼓コンサートを今年度初めて実施することができ、好評を得た。

■計画数を上回る事業を実施し、かつ事業の参加者数も計画を上回っている等、要求水準を達成していると認められる。また、「和太鼓コンサート」だけでなく、「文庫本の交換会」や「新・新健康フェスタ」など新たな事業も行っている。受講者が更に増えるよう、引き続き新たな事業を行うなど積極的に取り組まれることを期待する。

▽ 地域の憩いの場づくり施設活用事業(無料)に関する業務

事業名	回数	人数
バドミントン	41	593
卓球	96	1,311
バレーボール	57	983
バスケットボール	37	485
親子ふれあい	17	214
自習	78	149
囲碁	25	0
新・新サロン	12	271

◎利用状況によって3か月ごとに内容を見直している。有料利用により中止になった場合はホームページ、館内掲示で即座に告知した。
◎新・新サロンはサッポロスマイル体操や職員の伴奏による歌唱、百人一首、編み物等内容を見直した結果、利用者が増えた。多世代交流の場になることを目指している。

■月に1回以上複数分野において実施している等、要求水準を達成していると認められる。また多くの事業で昨年以上の利用人数となっており、内容見直しによる効果が見て取れる。

▽図書業務

▼テーマ展示

○児童向け絵本
「友達」、「日本及び世界の昔話」、「季節の絵本」等、子ども達の身近な題材。
○図書スタッフのおすすめコーナー
「スポーツ」、「著名人の本」等、話題性がある展示。
○一般向けのテーマ
芥川賞・直木賞等の展示。大人向け怪談や法律に関する本。
○生活の役に立つ本
物価高における節約方法や生活に潤いを与えるための本。
○区民講座・地域住民の交流を目的とした事業と関連した本
ストレッチ、布ぞうり、身体リフレッシュ健康体操、ハーブ、キャッシュレス、三浦綾子等。

▼予約ベスト50、新着案内を館内に掲示するとともに新着案内はホームページにも掲載。

▼「としよつだより」を月1回発行し、新着案内、図書室イベント、利用にあたってのお願い、開室日などを掲載。利用者に広く情報提供をした。

▼利用状況

	令和6年度	令和7年度	増減
開室日数	279	278	▲ 1
登録者数	395	323	▲ 72
貸出数	73,343	77,369	4,026
相互貸借数	49	17	▲ 32
レファレンス数	2,084	1,893	▲ 191
寄贈冊数	2,934	2,179	▲ 755

◎利用者の要望には丁寧に対応し、快適に利用してもらえるように図書室運営を行った。
◎設置している児童閲覧コーナーでは、小さな子どもと保護者が絵本や紙芝居を使用し、楽しそうに読み聞かせをする様子が窺えた。
◎「三浦綾子の心を伝える文学講演会」に合わせて自主事業利用者還元で新しい本を購入し好評だった。
◎当室の返却・貸出本は消毒剤で拭き取り、利用者の安全にも配慮している。
◎当法人の図書職員が定例で集まり、業務についての情報交換を行った。

■図書室の利用促進のため、様々な企画を行っているとともに、利用しやすい環境整備に努める等、要求水準を達成していると認められる。

◎貸出数の増加は棚の整理やレイアウトを日々工夫していることが要因である。

▼こども司書体験

夏休みに小学4～6年生2名で実施。カウンター業務、配架や予約本の確保、ブックカバーがけを体験した。

▼おはなし会

夏・冬季に実施。夏季は語学の堪能な利用者に講師を依頼し英語に親しむ内容とした。冬季は職員による参加型おはなし会を開催した。

▼文庫本の交換会

利用者同士で不要となった文庫本を交換する事業。事前に本を集めて冊数分のチケットを渡す。状態の良い本に限定した。

▼札幌市中央図書館主催来館者アンケートの実施

実施期間	配付	回収	回収率
9/2～9/16	50	45	90%

▽ 事業に関する市民の自主活動及び交流の支援業務

▼5月の新・新ほんわかコンサートに北海道国際情報高等学校・市立札幌新川高等学校の他、近隣中学校3校が、3月の和太鼓コンサートに札幌創成高等学校が出演者として参加。6月の新・新まつりには北海道国際情報高等学校・札幌創成高等学校の学生がボランティアとして多数参加。

▼8月の北海道マラソン開催時に札幌市立新琴似中学校吹奏楽部の応援演奏に協力した。

▼近隣町内会、子ども会、老人クラブ、サロンの運営にも協力した。

◎こども司書体験は人気の企画。図書室利用者にも協力を仰いだ。

◎おはなし会は親子共に好評だった。

◎文庫本の交換会は初めて開催した。利用者からは年に数回の開催を希望する声があった。

◎アンケート結果は札幌市中央図書館に報告するとともに図書室内にも一定期間掲示し利用者に周知することができた。

◎新・新まつりは高校生がボランティアで参加しともに盛り上げることができた。職員も地域行事にボランティアとして積極的に参加し、地域との繋がりを深めた。

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R6年度実績	R7年度計画	R7年度実績
体育室	件数(件)	1,039	979	970
	人数(人)	32,898	32,900	30,132
	稼働率(%)	88	88	83
会議室	件数(件)	750	576	761
	人数(人)	6,742	6,800	7,505
	稼働率(%)	67	67	70
実習室	件数(件)	397	150	453
	人数(人)	2,918	3,000	4,478
	稼働率(%)	34	34	40
和室A	件数(件)	661	339	692
	人数(人)	4,591	4,600	4,801
	稼働率(%)	58	58	58
和室B	件数(件)	527	339	523
	人数(人)	3,753	3,800	3,917
	稼働率(%)	46	46	45
洋室A	件数(件)	849	495	843
	人数(人)	9,583	9,600	10,218
	稼働率(%)	78	78	78
洋室B	件数(件)	799	495	721
	人数(人)	7,904	8,000	8,189
	稼働率(%)	74	74	68

▽ 不承認0件、取消し23件、減免0件、還付0件

◎年間平均利用率は63.1%となり札幌市から求められた70%程度にはとどかなかった。特に利用率の低い実習室は講座等でも積極的に利用した結果多少の改善はできた。利用人数は昨年度を大きく上回った。

◎キャンセルの申出があった場合は利用者の金銭的負担がおさえられる方法を提案した。

A	B	C	D
---	---	---	---

■計画を下回る稼働率となった貸室もあったが、利用者に対して適切な案内を行う等、利用促進に資する取組を行っており、要求水準を達成していると認められる。今後は、利用者の増加に資する取組をさらに積極的に行うこと、稼働率の低い貸室の利用向上により一層取り組まれることを期待する。

	▽ 利用促進の取組 ▼利用申込重複時は職員が可能な限り利用者間の調整役となり、空室の案内など利用可能な方を講じることに徹した。 ▼電話・インターネットでの申込や変更、キャンセルについて丁寧な説明と周知を実施した。 ▼講座を定期利用のない部屋や時間帯で行い、サークル化を促進した。	◎1講座がサークルになり貸室利用に結びついた。 ◎ホームページでは空室状況、地域の憩いの場づくり施設活用事業(無料)の利用確認ができる。貸室申し込みは24時間可能のためホームページからの申し込みが増えた。									
(6)付随業務	▽ 広報業務 ▼センター広報誌「新・新 だより」を月1回発行し積極的に地域に情報発信した。各連合町内会の協力のもと、新琴似・新川地区の約2,500世帯に回覧している。地域の公共施設にも配架依頼をした。二次元バーコードを記載しホームページに接続できるようにしている。 ▼講座・事業は近隣新聞店のミニコミ誌、地域の情報誌にも掲載。 ▼講座・事業の内容や地域の憩いの場施設活用事業(無料)の中止などはホームページで逐次更新し、最新情報を提供するとともに空室状況も掲載。 ▼ウェブアクセシビリティ方針に沿ったホームページを構築し公開した。適合レベルAAIに取り組んだ。 ▼館内には札幌市の施策に係る情報も提示した。 ▽ 引継ぎ業務 (前回から継続指定のため、引継ぎ業務なし)	◎各事業終了後のアンケート結果を見ると毎月発行の「新・新だより」や回覧、講座毎のきめ細かな広報チラシ作成と配架は有効な手段として活用できていることが伺われる。ミニコミ誌・情報誌での広報も積極的に行った結果北区外の参加者も増えた。スマートフォンにも対応したホームページの迅速な更新を行いサービス向上に努めた。アクセス数は31,354件。昨年度より4,907件増加した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> ■「新・新だより」の回覧からスマートフォン対応のホームページまで、さまざまな利用者の立場に立った情報発信を適切に行っている等、要求水準を達成していると認められる。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	■「新・新だより」の回覧からスマートフォン対応のホームページまで、さまざまな利用者の立場に立った情報発信を適切に行っている等、要求水準を達成していると認められる。			
A	B	C	D								
■「新・新だより」の回覧からスマートフォン対応のホームページまで、さまざまな利用者の立場に立った情報発信を適切に行っている等、要求水準を達成していると認められる。											
2 自主事業その他											
▽ 自主事業	▼飲料用自動販売機1台 売上高134千円 ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼市内企業の活用 ・再委託業務は可能な限り市内企業に発注した。 ▼福祉施策への配慮 ・市内の障がい者支援施設によるロビーでの販売実施。パン・クッキー等食品や木工品の販売(3団体が月1回販売)。 ・事務室受付カウンターに盲導犬育成募金協力のため、ミーナの募金箱を設置。 ・1階ロビーに福祉団体の自動販売機を1台(札幌市北区母子寡婦福祉連合会)を設置し、日常の維持管理を代行した。	◎館内に設置している自動販売機のうち1台を自主事業で運営し、利益は利用者に還元している。 ◎福祉施設の利用者や職員と地域住民の交流および製品の販路拡大に協力するため、ロビーで販売した。センター主催のおまつりや文化祭にも出店協力を仰いだ。販売を楽しみにしている利用者も大勢いて店舗に直接出向く事もあり、支援施設の売上貢献にもつながった。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> ■計画のとおり自主事業を実施し、これに係る経理を区別して適切に管理している。また、市内団体の活用に努めている。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	■計画のとおり自主事業を実施し、これに係る経理を区別して適切に管理している。また、市内団体の活用に努めている。			
A	B	C	D								
■計画のとおり自主事業を実施し、これに係る経理を区別して適切に管理している。また、市内団体の活用に努めている。											

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	事務室窓口で利用者へ手渡した。ロビー・図書室にも配置し、声掛けをして記入を促した。 回収は館内3か所に回収箱を設置。事務室窓口と図書室カウンターでも受け取った。																														
結果概要	<table><tr><th>実施期間</th><th>配布</th><th>回収</th><th>回収率</th></tr><tr><td>11/1～12/10</td><td>463</td><td>372</td><td>80.3%</td></tr></table>				実施期間	配布	回収	回収率	11/1～12/10	463	372	80.3%																			
	実施期間	配布	回収	回収率																											
	11/1～12/10	463	372	80.3%																											
	<table><tr><th>回答</th><th>回答数</th><th>比率(%)</th></tr><tr><td>男性</td><td>62</td><td>17%</td></tr><tr><td>女性</td><td>301</td><td>80%</td></tr><tr><td>回答しない</td><td>3</td><td>1%</td></tr><tr><td>未記入</td><td>6</td><td>2%</td></tr></table>				回答	回答数	比率(%)	男性	62	17%	女性	301	80%	回答しない	3	1%	未記入	6	2%												
	回答	回答数	比率(%)																												
	男性	62	17%																												
	女性	301	80%																												
	回答しない	3	1%																												
	未記入	6	2%																												
	年齢																														
	<table><tr><th>回答</th><th>回答数</th><th>比率(%)</th></tr><tr><td>～20代</td><td>16</td><td>4%</td></tr><tr><td>30代</td><td>15</td><td>4%</td></tr><tr><td>40代</td><td>21</td><td>6%</td></tr><tr><td>50代</td><td>40</td><td>11%</td></tr><tr><td>60代</td><td>67</td><td>18%</td></tr><tr><td>70代</td><td>156</td><td>41%</td></tr><tr><td>80代以上</td><td>54</td><td>15%</td></tr><tr><td>未記入</td><td>3</td><td>1%</td></tr></table>				回答	回答数	比率(%)	～20代	16	4%	30代	15	4%	40代	21	6%	50代	40	11%	60代	67	18%	70代	156	41%	80代以上	54	15%	未記入	3	1%
	回答	回答数	比率(%)																												
	～20代	16	4%																												
	30代	15	4%																												
	40代	21	6%																												
	50代	40	11%																												
	60代	67	18%																												
	70代	156	41%																												
80代以上	54	15%																													
未記入	3	1%																													
利用頻度																															
<table><tr><th>回答</th><th>回答数</th><th>比率(%)</th></tr><tr><td>週に数回</td><td>120</td><td>32%</td></tr><tr><td>月に数回</td><td>192</td><td>53%</td></tr><tr><td>年に数回</td><td>34</td><td>9%</td></tr><tr><td>ほとんど利用しない</td><td>13</td><td>3%</td></tr><tr><td>未記入</td><td>13</td><td>3%</td></tr></table>				回答	回答数	比率(%)	週に数回	120	32%	月に数回	192	53%	年に数回	34	9%	ほとんど利用しない	13	3%	未記入	13	3%										
回答	回答数	比率(%)																													
週に数回	120	32%																													
月に数回	192	53%																													
年に数回	34	9%																													
ほとんど利用しない	13	3%																													
未記入	13	3%																													
居住地域																															
<table><tr><th>回答</th><th>回答数</th><th>比率(%)</th></tr><tr><td>新琴似</td><td>191</td><td>52%</td></tr><tr><td>新川</td><td>87</td><td>23%</td></tr><tr><td>他の北区</td><td>30</td><td>8%</td></tr><tr><td>北区外</td><td>59</td><td>16%</td></tr><tr><td>未記入</td><td>5</td><td>1%</td></tr></table>				回答	回答数	比率(%)	新琴似	191	52%	新川	87	23%	他の北区	30	8%	北区外	59	16%	未記入	5	1%										
回答	回答数	比率(%)																													
新琴似	191	52%																													
新川	87	23%																													
他の北区	30	8%																													
北区外	59	16%																													
未記入	5	1%																													
来館目的(複数回答)																															
<table><tr><th>回答</th><th>回答数</th><th>比率(%)</th></tr><tr><td>貸室利用</td><td>284</td><td>76%</td></tr><tr><td>憩いの場事業での利用</td><td>14</td><td>4%</td></tr><tr><td>図書室</td><td>32</td><td>9%</td></tr><tr><td>講座などその他</td><td>32</td><td>9%</td></tr><tr><td>未記入</td><td>29</td><td>8%</td></tr></table>				回答	回答数	比率(%)	貸室利用	284	76%	憩いの場事業での利用	14	4%	図書室	32	9%	講座などその他	32	9%	未記入	29	8%										
回答	回答数	比率(%)																													
貸室利用	284	76%																													
憩いの場事業での利用	14	4%																													
図書室	32	9%																													
講座などその他	32	9%																													
未記入	29	8%																													

◎利用者には代表者だけでなく一人一人が記入するように依頼した。

A B C D

■利用者アンケートの結果は、要求水準を達成しているものと認められる。また、利用者からの意見、要望についても真摯に対応していることが窺える。アンケート結果や要望から利用者のニーズを的確に把握することで、今後のより良い施設運営に生かしていくことを期待する。

交通手段(複数回答)

回答	回答数	比率(%)
徒歩	156	42%
自転車	58	16%
自動車	174	47%
公共交通機関	23	6%
その他	3	1%
未記入	16	4%

また当地区センターを利用したいですか

回答	回答数	比率(%)
ぜひ利用したい	207	56%
利用したい	138	37%
どちらかといえば利用したい	15	4%
どちらでもない	5	1%
利用したくない	0	0%
未記入	7	2%

職員の言葉遣いや態度について

回答	回答数	比率(%)
とてもよい	187	51%
よい	138	37%
ふつう	41	11%
わるい	0	0%
とてもわるい	1	0%
未記入	5	1%

館内の清掃状況について

回答	回答数	比率(%)
とてもよい	194	53%
よい	150	40%
ふつう	23	6%
わるい	0	0%
とてもわるい	0	0%
未記入	5	1%

◎「いつもきれいで対応もよい」といった言葉を多くいただいた。

◎とてもよい・よいが全体の87%を占めたが、とてもわるいの理由は「上から目線のように話され感じが悪かった」であった。

◎行き届いた清掃により、大半が気持ちよく利用できている。

利用者からの意見・要望とその対応 ○貸室について ・他のサークルの方の声が大きくて気になる。 →現在破損している洋室ABのスライディングウォールは、札幌市にも相談していますが修理の目処は立っていません。 ・畳に毛や小さいゴミが落ちていることがある。 →朝の清掃だけでなく、貸室利用後の点検も強化しました。 ○施設・運営について ・駐車場について、広くして欲しい、車止めをつけて欲しい。 →駐車スペースは限られており、引き続き自家用車の乗り合いや公共交通機関の利用等、協力をお願いしています。車止めは除雪の関係もあり設置の予定はありません。 →体育室横、後ろ側の駐車場は令和7年10月に株式会社平成道路さんのご厚意により砂利の搬入・転圧をしていただいたため水たまりが出来にくくなり利便性が向上しました。 ・トイレについて、ハンドドライヤー・ウォシュレットの設置希望。 →ハンドドライヤーの設置予定はありません。ウォシュレットは1階の多目的トイレに設置しており、設置してあることが分かるように掲示をしました。 ・ロビーの椅子が足りない、洋室の椅子のクッションが取れている、外のベンチが痛んでいる。 →対応しました。 ○運営についてお褒めの言葉も多数いただきました。	◎アンケート結果 は札幌市に報告をするとともに、一定期間館内に掲示をし利用者へ周知をした。問題点は全職員で共有し改善できるものは早急に取り組んだ。期間外でも意見要望があればすみやかに対応した。ご意見ご要望は札幌市と相談しながら対応していく。
--	--

4 收支状况

▽ 収支				(千円)						
項目		R7年度計画	R7年度決算	差(決算-計画)		◎利用料金は計画を上回ることができたが物価高騰、施設の老朽化等により支出も増えた。軽微な修繕はできる限り職員で対応し経費節減に努めた。 ■物価の高騰や施設の老朽化等により、計画と比べ、支出が増えたものの、積極的利益還元を行った上で収支均衡となっており、適正に運営されていると認められる。				
収入		36,934	39,208	2,274						
指定管理業務収入	指定管理費	36,834	39,074	2,240						
	利用料金	26,077	26,077	0						
	利用料金	10,047	11,605	1,558						
	その他	710	1,393	683						
自主事業収入		100	134	34						
支出		36,837	39,063	2,225						
指定管理業務支出		36,820	39,045	2,225						
自主事業支出		17	17	0						
収入-支出		97	145	49						
自主事業による利益還元		0	145	145						
法人税等		14	0	▲ 14						
純利益		83	0	▲ 82						

【参考】	R7年度決算	内容
指定管理業務による利益還元	666	下記のとおり

▽ 説明

▼その他の収入
札幌市補填金光熱費高騰分についての見直し額266千円・賃金スライド制度446千円
講座収入391千円、印刷・コピーサービスによる収入290千円を含む。
【印刷・コピーサービス内訳】

コピー機	337件	4,043枚	（前年	395件	4,238枚）
印刷機	174件	83,245枚	（前年	206件	79,434枚）

▼自主事業による利益還元としてセンター図書室の本27冊を購入、ほんわかコンサート・和太鼓コンサートの実施。
▼指定管理業務による利益還元として洋室B会議用テーブル12本、和室防災カーペット2枚、実習室電子レンジ1台、行事用備品、図書室所蔵本、コンサート協力費など利便性や安全面を考慮した備品購入及び対応をした。

<確認項目> ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持 ▼労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団は全国に拠点を持つ協同労働の協同組合組織であるため、安定経営を維持できるようすべての事業所・現場が相互に連携して常に経営改善に取り組み運営にあたっている。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼オンブズマンからの調査の依頼はなかった。 ▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
◎令和7年7月からの貸室料金改定により不安材料もあったが利用料金収入については増収となった。きめ細かな対応ができたためでもある。 ◎区民講座については定員割れになってしまった講座もあったが受講生からはどれも高い評価をいただいた。1講座がサークルとなった。 ◎地域住民の交流等を目的とした事業については、開館時間内にいつでもロビーで楽しみ、幼児からシニアまで同じ事業に参加できるものを開催して喜ばれた(七夕飾り、ハロウィンを楽しもう)。全館あげての新・新まつりや地域の中学生・高校生による吹奏楽コンサートは、気軽に参加してもらえる事業として多くの地域住民に支持されて定番行事となった。 ◎利用者アンケートの結果は管理運営について高い評価をいただいた。 ◎近隣の子ども会、老人クラブ、地域サロンの運営にボランティアとして参加し地域活動の支援をした。また、まちづくりセンターや福まち推進センター・コミュニティネットワーク会議・老人連絡協議会等と共催して多くの事業を実施した。今後も地域の活動に協力したい。 ◎引き続き手指消毒薬を設置して(出入り口、貸室、図書室)利用者の安全にも配慮をした。	◎設置目的である地域住民のコミュニティ活動の助長および生涯学習の普及振興、福祉の増進に寄与することを念頭におき、的確に地域のニーズを把握し、区民講座、地域住民の交流等を目的とした事業、地域の憩いの場づくり施設活用事業(無料)を企画・実施していく。また、住民参加型の事業(地域の担い手養成、多世代交流、地域住民の健康増進等)に積極的に取組んでいく。 ◎区民講座については講座からサークル活動に繋がるように支援をしていく。 ◎地域住民の交流等を目的とした事業については混乱のないようにわかりやすい広報を行う。おまつりなどは地域の高校生ボランティアの協力を得ながら地域とともに盛り上げたい。 ◎地域の憩いの場づくり施設活用事業(無料)については昨年度利用が全くなかった囲碁と、バドミントン利用者からの要望があった活用日程の見直しを行う。 ◎施設の老朽化により指定管理者では対応の難しい修繕が発生している。利用者に不便がかからないように運営を行う。 ◎利用率の向上、経費削減を図り安定した管理運営を職員一丸となって行う。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
施設の設置目的に沿った適切な管理運営が行われている。様々な地域交流事業を企画するなど、積極的な施設の利用促進に努めており、利用者からの評価も高い水準を維持していることも評価できる。 引き続き、円滑な施設運営を行っていただくとともに、利用者のニーズを踏まえながら様々な事業に取り組み、更なる利用促進を図っていくことを期待する。	改善指導・指示を要する事項は特になし。